

<全体方針>

丸亀市教育大綱に沿い、主体性と公共性を備えた豊かな人格の子ども達の育成に資する教育環境の整備を推進する。放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）の全学年受入れ体制を整備し子どもたちが安心して活動できる場所の確保とともに、学校教育サポート体制の充実や小中一貫教育の発展拡充に努め、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを見守る教育環境の構築を推進する。図書館、資料館などの教育・文化関係施設整備を推進し、市民サービスの向上、利用促進を図る。

<課ごとの指導方針>

・総務課

市内全校区の青い鳥教室で全学年児童受け入れのための施設等整備及び学校施設の安全確保のための外壁改修や天井改修工事、資料館耐震等工事などの事業について進捗状況を管理し着実に推進する。

・学校教育課

学校・家庭・地域の連携のもと楽しい学校・学級づくりに努める。学校教育サポート体制の一層の充実を図り、いじめ・不登校等の諸問題に対して、関係機関と連携して迅速適切に対処する。

・学校給食センター

地場産物の使用促進と残菜率の低減に努め、安全安心でおいしい学校給食の提供に努める。

・図書館

開館時間延長、蔵書の整備充実、展示、講演講座など様々な方策による市民サービスの充実に努め、図書館利用の促進を図る。

平成28年度 各課の重点的取組				最終評価	
課名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	評価 (進捗結果)	所見
総務課 (建築課)	★放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）の受入拡大	●施設整備及び支援員の確保	○全学年受入れ未実施の2校区（垂水・飯野）で施設整備等を完了する。垂水校区は平成28年10月から、飯野校区は平成29年4月から全学年受入見込み。	B	○昨年10月から、垂水小学校青い鳥教室について1教室増設した。また、飯野校区については、本年3月、青い鳥教室の施設整備が完了し、4月から利用を開始する予定である。このことにより、青い鳥教室の受入れ児童については、全教室で小学校6年生までとなる。
総務課 (建築課)	★小中学校施設整備	●小中学校防災機能強化 ●小中学校の屋内運動場及び武道場等の天井改修	○小中学校校舎等の外壁改修完了。 ○小中学校屋内運動場及び武道場の吊り天井撤去工事完了。	B	○小学校校舎等の外壁改修は予定どおり完了した。 ○小学校屋内運動場及び武道場の吊り天井撤去は予定どおり完了した。
総務課 資料館 (建築課)	★資料館施設の耐震補強・EV設置・内部改修工事	●耐震補強等工事及び仮事務所への事務室・資料等移転	○耐震補強等工事のための仮事務所（旧平山保育所等）への資料等の円滑な移転実施及び工事完了。	B	○6月から休館し、資料の整理を行うとともに、仮事務所に移転した。耐震補強工事は、予定どおり、平成29年3月末完了した。

<p>文化財保護室 (都市計画課 公園担当)</p>	<p>★史跡丸亀城跡や快天山古墳など国指定史跡をはじめとする市内に所在する指定文化財の保護と活用を図る。</p>	<p>●三の丸坤櫓跡き損に伴う石垣修理工事及びそれに伴う調査を平成28年度から平成33年度に実施する。</p>	<p>○三の丸坤櫓跡石垣の修理工事着手。ボーリング調査・測量・仮設道工事を実施する。快天山古墳の整備計画の見直しを行う。</p>	<p>C</p>	<p>○三の丸坤櫓跡石垣修復工事は、下段の帯曲輪も合わせて修理を行なうこととなった。 ○石垣が崩れることのない安全対策を行い、修復工事の施工方法について、文化庁等関係機関と協議・検討する。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>★学校教育サポート体制の充実</p>	<p>●学校において解決困難な問題の解決に向けた支援 ●いじめの未然防止と早期解決 ●生徒指導の充実に向けて教育研究所と協働した、女子生徒の指導の研究</p>	<p>○校長 OB、SSW、警察OB等の専門家による相談活動、助言。 ○サポート室及び関係機関との連携。 ○「丸亀市いじめ等防止基本方針」に基づいた対応の徹底。 ○教員用の生徒指導用リーフレット作成</p>	<p>B</p>	<p>○各小中学校で起こっている問題に対する解決への支援を実施した。今年度、学校からの相談件数が96件と、昨年度を10件上回り、学校が相談しやすい体制が整ってきている。 ○学校、関係課、外部機関との連携を密にし、随時情報交換やケース会を行った。 ○校長会、教頭会において、対応の徹底を指導し、月例報告で確認した。 ○女子生徒指導リーフレットを作成し、教育クラウドに掲載し、各校に周知した。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>★いじめや問題行動等の今日的課題について、学校、保護者、</p>	<p>●「ピンクのシャツ運動」を普及する活動の推進</p>	<p>○学校行事や市のイベントでの「ピンクのシャツ」</p>	<p>B</p>	<p>○今年度のシャツ貸出実績は、17件・1,034着と、前年度の実績を上回っており、着実に普</p>

	地域間での共通認識を図るとともに、健全育成に関する啓発活動の充実を図る。	●「かめっこ」による、児童生徒、保護者、地域への啓発活動の継続	の活用の機会の増進。 ○「かめっこ」の年7回の発行と時機をとらえた内容の充実を図る。		及してきている。 ○11月の行政評価委員会の指摘により、当初の成果目標を修正し、発行回数も含め平成29年4月号より誌面を刷新することとした。
学校教育課	★外国籍児童生徒及び、外国にルーツのある児童生徒に対しての指導体制の充実 ★外国籍児童等の在籍学校及び担任教師との協力・連携体制の充実	●初期の日本語指導や、学校生活、社会ルールについての指導の更なる充実 ●保護者からの相談を受ける体制の充実 ●外国籍児童等の指導法や教材等ノウハウをまとめるなど、センター的役割の充実 ●保護者や在籍校との連絡連携	○ひらがなの読み書き、日常会話の指導（入級後4ヶ月程度で80%達成） ○決まりや挨拶、トイレの使い方等、日本の生活に適應できるようになるための指導（入級後4ヶ月程度で困らない水準） ○リライト教材等、やさしい日本語による簡単な教科指導のための教材開発を行う。	B	○日本語適応支援教室では、本年度末、14名の修了生を出している。 ○3月31日現在で、6名が在籍し、次年度も引き続き、日本語の習得を行う予定である。 ○小中合わせて6校と日本語適応支援教室に外国子女教育推進講師（外国語が話せる講師）をのべ10名派遣して、日本語指導・教科指導・母語指導も行っている。
学校教育課	★就学前教育の充実	●幼稚園、認定こども園、保育所における教育、保育の実践を通じた研修	○幼稚園、認定こども園、保育所において統一カリキュラムに基づく実践を通して、公開保育や相互理	B	○幼稚園1園、こども園2園、保育所1所において統一カリキュラムを活用した公開保育を実施した。アプローチカリキュラムにつながる年齢の育ちを見直し、共通理解を深めると

		<p>●幼稚園、認定こども園、保育所と、小学校をつなぐアプローチカリキュラムの策定</p>	<p>解研修等に取り組み、幼児教育への理解を深め、質の向上に努める。</p> <p>○アプローチカリキュラム検討委員会を立ち上げ検討を進める。</p>		<p>ともに、幼稚園、こども園、保育所の相互理解を進めており、成果が見られた。</p>
<p>学校教育課 教育研究所</p>	<p>★小中学生の学力向上</p>	<p>●市内小中学生の県又は国の学力調査結果の分析と分析結果の指導法改善への活用（小学3～5年、中学1、2年は県学習状況調査を実施。小学6年、中学3年は、全国学力・学習状況調査を実施）</p> <p>●先進地視察</p>	<p>○学力調査結果の市の平均点：県平均と同水準</p> <p>○先進地視察から得た学力向上策の提案及び各校での実施。</p>	B	<p>○国の学力調査の結果を分析して、校長会で今後の改善の方向を提案した。</p> <p>○学力向上策の先進地を視察して、教育研究所の部会で、指導法改善のために公開授業を行い、指導力の向上に努めた。また、「家庭学習の手引き」や生徒指導上の問題についてリーフレット等を作成し、各学校に配布した。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>★小中一貫教育の発展拡充：各連携協議会（各中学校群）における特色ある事業の推進及び拡充</p>	<p>●各連携協議会（中学校群）に活動委託</p> <p>●市費講師を5中学校9名配置</p> <p>●家庭との連携を図った取</p>	<p>○各連携協議会における検証結果の次年度への反映。</p> <p>○小学校での授業肯定的評価：目標 88%（H27年</p>	B	<p>○交流授業の派遣に係る市費講師（9名）の確保ができており、計画どおり実施した。</p> <p>○各連携協議会において、それぞれの学校群の課題解決に焦点化して取り組んだ。</p> <p>○次年度は、より一層、地域との連携を進めて</p>

		組の実施	度 86.5 %) <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習の仕方などのリーフレットを作成し、各学校に配布する。</li> </ul>		いく予定である。
学校教育課	★発達障がい児に対する支援の充実	●支援員の増員と巡回カウンセリングの対象・回数の拡充	○支援員によるサポートとともに、巡回カウンセリングや個別相談の実施：160 回以上（H28 年度 10 月末現在：122 回）	B	○8 月に通常学級における特別支援教育についての教育講演会を開催し、市内の幼・こ・小・中の教員等や保育士が参加し研修した。 ○学校群ごとに巡回相談員を配置したことにより、保・幼・こ・小・中の継続的なかわりが可能となり、より決め細やかな対応ができた。
学校給食センター	★学校給食アレルギー対応の推進	●アレルギー対応推進に向け丸亀市食物アレルギー対応給食推進委員会の開催。	○食物アレルギー対応マニュアルの改定。	B	○H28 年 9 月に食物アレルギー対応マニュアル（改定版）を策定し、現在 H29 年 4 月からの実施に向け、調査・面談・申請手続き等を順調に進めている。
学校給食センター	★学校給食における食育と地場産物使用の推進	●地場産物の活用	○県内産 38%、丸亀産 17%以上	C	○全国的な天候不順による地場産物の不作から、H29 年度の地産率は、県内産 33.1%、丸亀産 14.8%であり、目標に達していない。
図書館	★中央・綾歌・飯山図書館 3 館の運営体制検討	●図書館運営について丸亀市図書館協議会に諮問し答	○図書館協議会の答申を踏まえ平成 29 年度以降の	B	○平成 29 年度からの市立図書館 3 館の運営体制を決定し運営に反映させた。

		申を得る。	市立図書館 3 館の運営体制決定。		
図書館	★利用者へのサービス向上	●中央図書館の開館時間延長に向けて、試行的に年間を通して平日午後8時まで開館延長を行い、成果の検証や人員体制等の検討を行う。	○開館時間の延長実施による利用者増。	B	○開館時間延長により利用者増などの成果が出たが、費用対効果の面での十分な検討が必要なことから、平成 29 年度についても平日午後 8 時までの開館延長を継続実施する。